

海洋汚染を  
アッサリ解決!

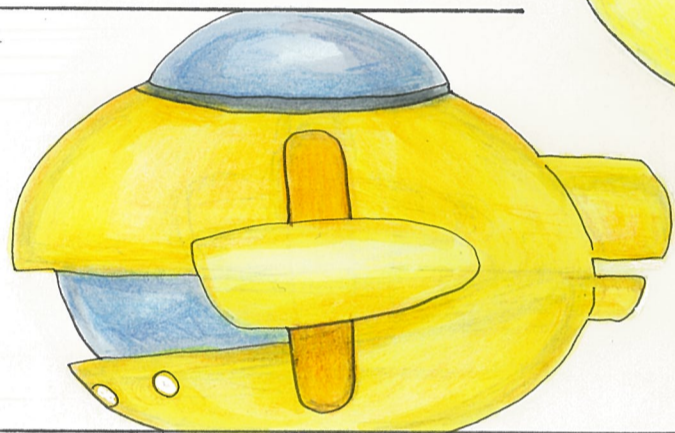
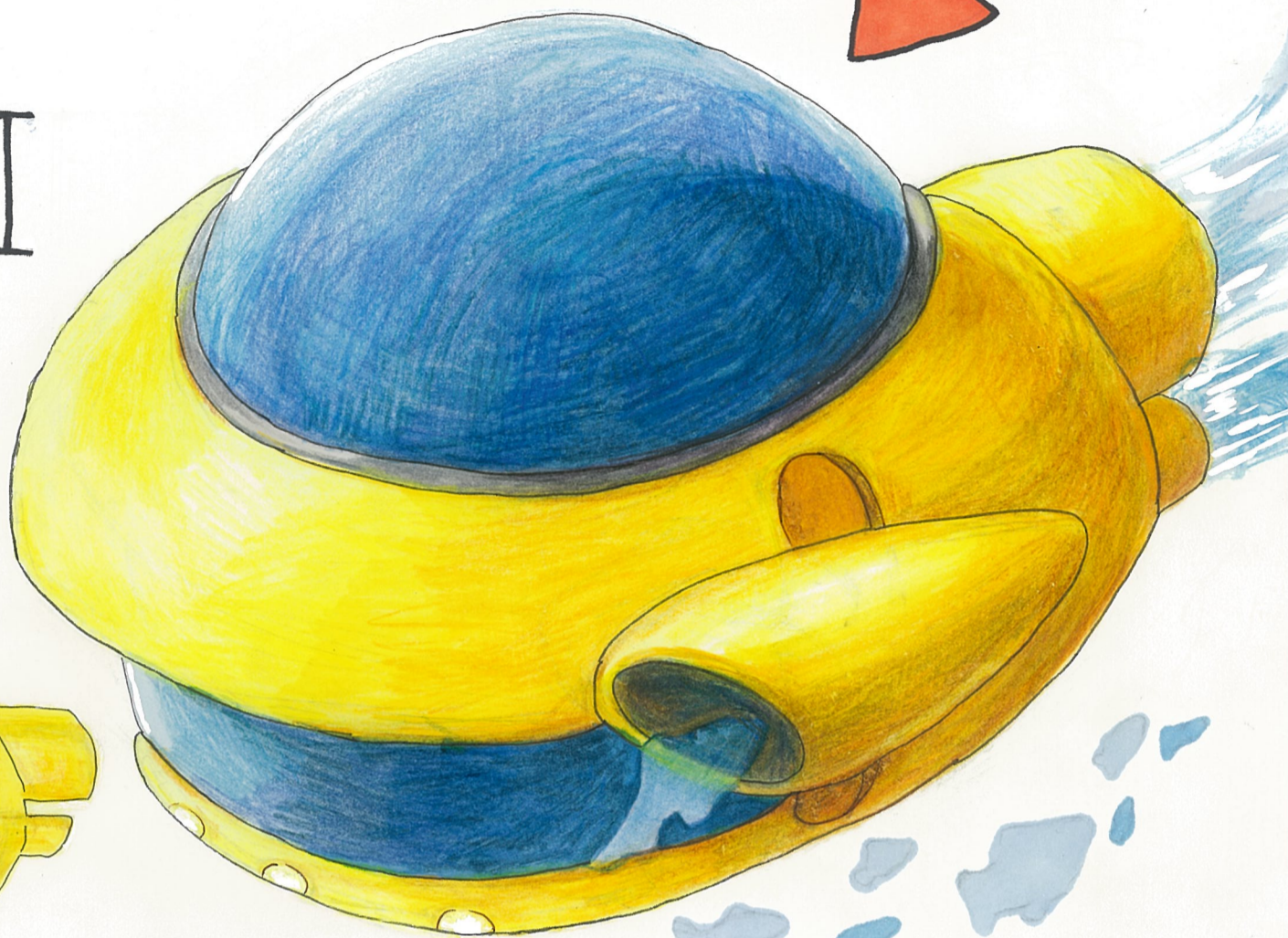
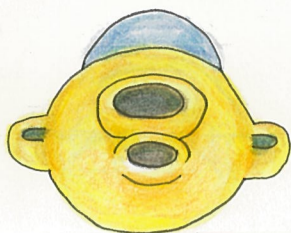
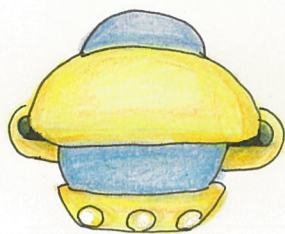
# ASSARI

アッサリー

「海の掃除屋」と呼ばれるアサリをイメージしたモビリティ。  
大人数乗ることが可能で水中観光をしながら  
海をきれいにしてくれます。

前方

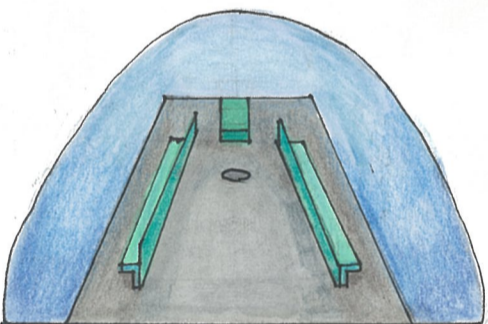
後方



## コンセプト

海をきれいにしながら、水中観光を兼ねたモビリティ。

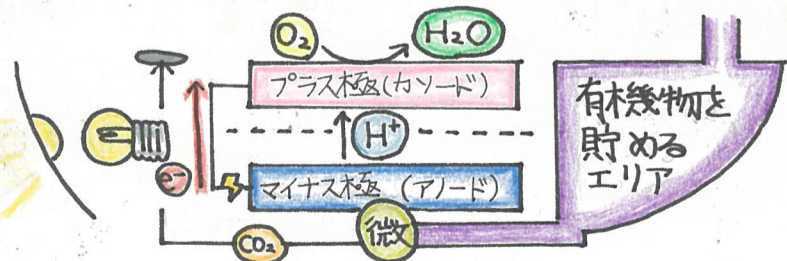
<客舟台>



一番前の真ん中の席が操縦座席。  
180度見渡せるようになっている。  
観光客の席はどの席でも目の前に  
水中が広がる席になっている。

<ライト>

微生物燃料電池を使って吸水管や光合成から  
得た有機物から微生物の分解により生まれた  
電気エネルギーをライトの光源として使用する。



<羽>  
(前方)



(後方)



(上昇)



(下降)



(右)

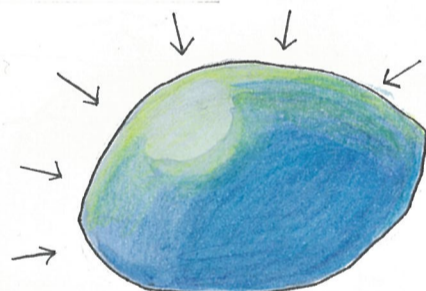
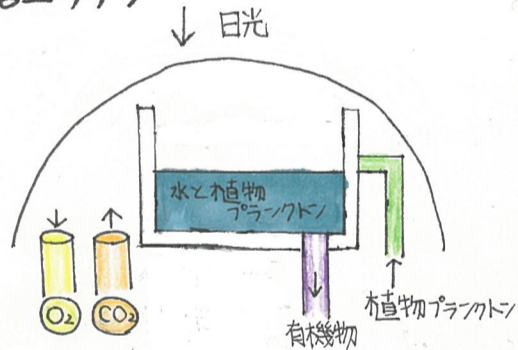
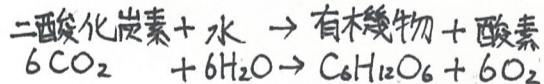


(左)



<光合成により空気を循環させるエリア>

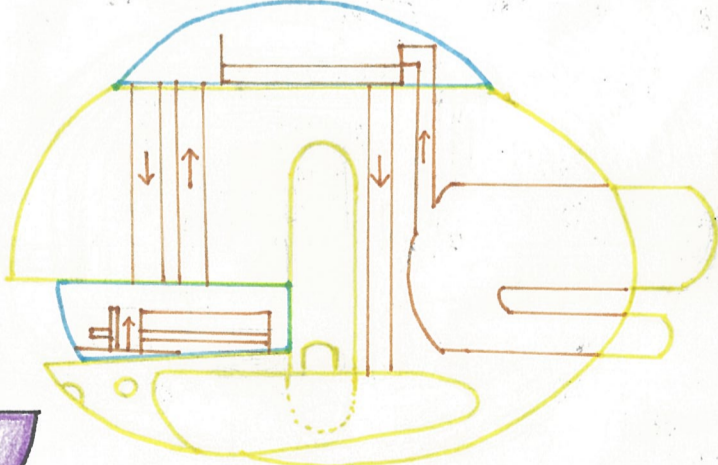
吸水管から吸い込んだ植物  
プランクトンと舟台内の二酸化炭素を  
光合成で酸素を発生させ、舟台内の  
空気を循環させる。またその際に  
発生した有機物は下の有機物を  
貯めるエリアに送られる。



どの方向から日光を  
受けやすいようドーム型に  
なっている。

<水深>

太陽光が届きにくく  
なる水深200mより  
上の水中を移動する。



<吸水管>

アサリの入水管という部位の  
機能と同じく濁った  
海水(木植物プランクトンや  
有機物を含んだ海水)を  
吸い込む。誤って大きな  
魚を吸い込まないように穴のサイズが  
小魚位の格子状の網が設置されている。



<カラー>

魚が衝突しないように水中で  
最も目立つ色とされている黄色で  
塗装されている。

<放水管>



アサリの出水管という部位の  
機能と同じく、ろ過された海水を  
出す。この海水を出すとき舟台を  
直進させる。そのためカが分散  
しないよう吸水管より穴が小さくなっ  
ている。また誤って吸水管から魚を  
吸っても小魚位のサイズならこの管  
から出られるようになっている。

羽は上下に動かしたり  
羽の向きを上下に動かす  
ことができる。それにより  
舟台の向きを上下左右に  
方向を変えることができる。